

◆点検シート(新基準)

| | | | |
|-------------|-------------------|------|------------|
| 評価基準 | 1 理念・目的 | 点検単位 | 文学部 史学科 |
| 点検・評価 年度 | 2018年度(対象:2017年度) | | |

① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

史学科の理念・目的は、自ら課題を発見し、高い倫理観と責任感をもって想定外の困難に対しても立ち向かえるだけでなく、仏教精神を基にして他者と創造的に協働できるグローバルな人材の育成である。これに従い、本学科では、「日本史」「東洋史」「西洋史」の3つのコースに所属して専門的な学習を進めるだけでなく、それらを横断して学び、世界の政治・経済・社会・文化の歴史を、多角的に実証的かつ論理的に学び理解を深めていけるようなカリキュラムを設定している。加えて、少人数のゼミ教育を多く導入するなどして、自分自身の考えを確立させ、主体的に認知する力、他者との相互理解に努める力を養う教育を目指しており、こうした方向は、本学部の理念・目的に沿ったものとして、適切に設定されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

現状では、「大学案内」、「学習の手引」、パンフレット、大学ホームページなどで、本学科の理念・目的や教育目標は周知している。大学構成員に対しては、教授会および学科内外の諸会議において周知されている。学生に対しては、「学習の手引き」や京都女子大学ホームページの全学共通項の「理念・目的」中の「教育目標」で史学科の教育目標が明示されている。加えて、同じホームページの学科紹介の項目において、「史学科・学びのポイント」として4つのポイントに分けて史学科の教育理念とカリキュラムの特徴を具体的に説明するなどして、きめ細かな広報を目指している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた計画その他諸施策を設定しているか。

| |
|---|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 個別の視点での入力不要 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 |
| 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 |

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

| |
|--|
| 一般的なコメント(総評) 学科の理念が具体的に設定され、それを教職員、学生、社会に対してきめ細かく周知する施策もとられていると評価できます。 |
| 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの) |

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

| |
|-----------|
| 意見 |
|-----------|

◆点検シート(新基準)

| | | | |
|-------------|-------------------|------|------------|
| 評価基準 | 4 教育課程・学習成果 | 点検単位 | 文学部 史学科 |
| 点検・評価 年度 | 2018年度(対象:2017年度) | | |

① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

史学科の学位授与の方針は、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表2「学位授与の方針」に定められている。「学位授与の方針」には課程修了にあたって習得しておくべき能力を、[知識・理解][汎用的技能][思考・判断][対話・相互理解][社会性・自律性][自立性]の観点から具体的に明示している。また、「学位授与の方針」、大学ウェブサイトや「学習の手引」において広く公表している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「学位授与の方針」に掲げた能力を修得させるため、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表3「教育課程編成・実施の方針」を定めている。「教育課程編成・実施の方針」では「学位授与の方針」との関連性を踏まえ、回生ごとの教育課程の編成内容を示している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。

| |
|--|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 |
| 史学科では、教育課程編成・実施の方針に基づき、日本史、東洋史、西洋史の各分野について、1年次における基礎力の養成から4年次の卒業論文へと、順を追って専門性を高めていけるように、体系的な教育課程を編成し、実施している。1年次には、日本史、東洋史、西洋史の概論科目を中心に基礎的内容を学ぶとともに、基礎演習A・Bにおいて歴史学の研究手法を学ぶ。2年次からは、日本史、東洋史、西洋史の各コースに分かれ、入門演習や講読などで本格的な専門研究を始める。3年次からは時代別テーマ別にゼミに分かれ研究内容をさらに深めていく。それまでの学習を総合して、指導教員の個別指導を受けつつ、4年次にかけて卒業研究の完成を目指すという、体系的な編成となっている。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 |
| 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 |
| 特筆すべき事項なし。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 |
| 特筆すべき事項なし。 |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 |
| |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 |
| |

④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。

| |
|--|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 |
| 本学科では、1年次から4年次まで少人数制のゼミ教育を教育課程の中心に置くことで、よりきめの細かな、かつ体系的な教育の実践に努めている(なお、各ゼミの人数はおおよそ10～15名である。1年次の基礎演習Aは1クラス30人であるが、これは、演習と講義の中間形態をとることで、高大接続を容易にするための工夫である)。また、日本史、東洋史、西洋史のいずれのコースにおいても資料・史料講読の授業を多数設定して、こちらも少人数で徹底した文献読解の能力を身につけるために有効な授業となっている。 ゼミ・講読と並んで、特殊講義が2年次以降に配置されており、段階的により高度な内容を学べるようにしており、また、さまざまな分野のものを開講することで、歴史学の多様性に触れ、体系的に専門知識を獲得していくことができるよう促している。 このように、4年次に演習の最終段階である「演習Ⅱ」を受講し卒業論文を作成する際、学生がそれまでの学びの総合化をしやすいように工夫している。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 |
| 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 |
| 2016年度学生生活実態調査によると、「専門科目の授業が充実している」は0.90、「ものごとを論理的・体系的に考えること」は0.59と他学科に比べて高い数値である。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 |
| 特筆すべき事項なし。 |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 |
| |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 |
| 2016年度学生生活実態調査によると、「少人数制の授業が充実している」が0.40と相対的に低く、学年が上がるにつれてより少人数の体制になっていくという、教育体系の実態が伝わっていない可能性が高い。基礎演習や入門演習において、学生への周知徹底に努める。 |

⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

| |
|--|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 シラバスにおいて「評価項目」「配分%」「評価の視点」などの評価基準を明らかにし、厳格な成績評価を実施している。提出された各学生の成績は、教務課・教務委員会によって点検・確認され、適切な単位認定が行われている。 また、学生に通知された成績について疑義がある場合の問い合わせ期間を設け、成績評価が適切に行われるよう取り組んでいる。さらに、履修要項第42条の2に、「GPAが一定基準を下回った場合には、教員による面談を受けなければならない」と規定し、成績不良者への指導体制も整備している。加えて、面談・指導後も一定期間にわたり成績の改善が見られない者に対しては、学修上の指導または各種勧告を行うことがあると定めている。 卒業判定は、本学学則第52条を踏まえて教授会で審議される。①卒業要件達成者、②追試・再試等で卒業要件を満たす可能性のある者、③卒業要件を満たさない者に分類した資料に基づいて、厳格な判定が行われている。なお上記②の者については、追試・再試等を実施した結果を基に、教授会で再審議している。 学位授与に関わる基準は「学位規定」「学習の手引」や本学ウェブサイトにも明記されており、教授会においてこれに基づき審議する。教授会は審議結果を意見として学長に伝え、最終的に学長が学位授与(卒業認定)の決定手続きを行っている。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 |
| 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。 |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 |

⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。

| |
|---|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 学習成果を測定する評価指標として、史学科では累積GPA、大学院進学率を重視している。累積GPAについては、2017年度卒業者は2.66、2018年度卒業者は2.70と、安定して推移している。GPA分布も大きな偏りはなく、2.5-2.99が最も多く、2.0～2.49が次位を占めており、2.0未満が最も少ない。大学院進学率も2017年度が6人、18年度が5人と安定して、他学科より多い。以上より、概ね教育目標に沿った成果が上がっているといえる。 4年間のまなびの総括となる卒業論文についても、学習成果を適切に把握・評価するシステムが構築されている。具体的には、論文提出までの過程では、日々の指導だけでなく、卒業論文中間発表会の開催によって、学生の学習成果を教員間で共有している。提出後の論文については、複数教員が審査した上で口頭試問を行って評価を下し、その結果を全体で共有している。 なお、2017年度より、学修ポートフォリオ(京女ポータル)を導入しており、適宜、学生の成績把握と学習指導に利用している。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 |
| 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。 |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 特筆すべき事項なし。 |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 特筆すべき事項なし。 |

⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

教育課程及びその内容、方法の適切性については、学科会議において、授業評価アンケートや学生生活実態調査、卒業時満足度調査の結果から検証している。授業評価アンケートについては、各教員がアンケート結果に対する「授業評価所見」を公表し、さらに学科選出のFD委員が、学科における改善の取り組みについて計画を策定し、報告書をまとめている。なお、このFD委員が中心となってFD会議を開催し、学科内のFD研究会を開いたり、全学のFD講演会へ参加するなどの改善の取り組みも行っている。

毎年度後半には、学科主任が中心となって、学科会議などで、各科目の受講者数の確認、カリキュラムの妥当性、担当者の選定、時間割のあり方などを検証している。さらに、そうした検討の結果を、次年度の基礎演習テキストや「学習の手引」を作成する際に反映している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

- ・アンケート結果を検証し、カリキュラム改革を行った。
- ・基礎演習テキストの作成

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

特筆すべき事項なし。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評)

4年間を通じた教育課程の編成方針が的確に把握されており、成績評価、学位授与に関する方針も学科全体で共有されており評価できます。少人数教育における学生の満足度の向上に向けては、学生に対して教育体系への理解を促すことにとどまらず、学生自身が本当に満足したと感じられる授業実践を期待します。

改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

◆点検シート(新基準)

| | | | |
|-------------|-------------------|------|------------|
| 評価基準 | 5 学生の受け入れ | 点検単位 | 文学部 史学科 |
| 点検・評価 年度 | 2018年度(対象:2017年度) | | |

① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」の別表4「入学者受け入れの方針」において、求める学生像や修得しておくべき知識等を具体的に明示し、その内容は大学ウェブサイトや募集要項で広く社会に公表している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学科の学生募集および入学者選抜については、学部教授会にて審議・承認を得るという手続きをとっている。学生募集においては、募集人数に対してかろうじて競争的環境を保つ受験生数を確保している。入学者選抜、指定校推薦入試、公募制推薦入試、一般選抜、社会人特別選抜、AO入試、一般編入学試験、推薦編入学試験があり、いずれも学科の定めた入試科目や方法に従い、「入学者受け入れの方針」に基づいて、公正かつ適切に実施されている。AO入試は本学科では初の実施であったが、募集人数8名に対して19名の受験者を得て、小論文・面接によって多方面に評価し、本学科の求める入学者を選抜することができた。

入学定員超過率は、2017年入試において1.17、2018年入試において1.04となっており、いずれも超過してはいるものの、改善がみられる。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

| |
|---|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ※個別の視点での記入は不要です。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 |

④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

| |
|---|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 学生の受け入れの適切性については、全学の入試委員会で定期的に検討されており、検討結果については適宜、学科会議で報告されるとともに、必要に応じて審議している。学部選出の教員1名が全学の入試制度委員会に出席し、本学科の個別的観点に基づく学生募集および入学者選抜の在り方について意見を述べ、全学的なレベルでの調整に貢献している。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。 |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 |

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

| |
|---|
| 一般的なコメント(総評) 学生の受け入れと募集の方針並びに選抜方針のいずれにおいて、実施すべき課題が明確に設定されており、達成されたことに対しても適切な評価がなされているといえます。 |
| 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの) |

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

| |
|-----------|
| 意見 |
|-----------|

◆点検シート(新基準)

| | | | |
|-------------|-------------------|------|------------|
| 評価基準 | 6 教員・教員組織 | 点検単位 | 文学部 史学科 |
| 点検・評価 年度 | 2018年度(対象:2017年度) | | |

① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

史学科では、教育課程および研究対象領域を踏まえて教員組織の編制方針を定め、教育人事(採用・昇格)に当たっている。具体的には、学科会議において応募条件を精査した上で公募採用人事案を策定し、全学の人事委員会にて提案の上、審議・了承を得ている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

教員組織の編成方針について、対外的に明示できていないため、整理して明文化する。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

史学科の2017年度における教員数は12名、年齢構成は70代1名、60代2名、50代5名、40代4名で、教授9名、准教授3名となっている。専任教員一人当たりの学生数は44名である。史学科開設科目総数に占める専任教員の担当科目の比率(専兼比率)は64.2%となっている。必修科目は全て専任教員が担当している。選択必修科目においては非常勤講師による割合が36.2%となっている。史学科のカリキュラムポリシーに則って、日本史、東洋史、西洋史の3コースにそれぞれ6名、3名、3名の教員を配置し、古代から近現代まで網羅的に学生が学べる体制を作っている。教員組織とそれぞれの研究分野については、大学案内やウェブサイト公表されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

日本史、東洋史、西洋史各コースの学生数の増減や、それぞれのコース内で学生が希望するテーマの変化によって、教員配置を再検討する。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

教員の募集・採用・承認等に関しては「京都女子大学教員資格審査規程」および「内規」に基準が明記されている。史学科においてはこれらに則って、学科会議や各コースの会議において、教員人事の審査がなされている。2017年度には教員募集や昇格は生じなかった。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

特筆すべき事項なし。

④ 教員の資質の向上を図るための方策を組織的かつ多面的に実施し、教員及び教員組織の改善につなげているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

史学科では月に2～3度、学科会議の終了後に、学科選出のFD推進委員が中心となって、FD会議を開催している。学習面でさまざまな困難を抱える学生について意見交換し、指導方法の改善や授業評価アンケートの結果などについて議論している。学科独自のFDとして基礎演習のテキストを作成しているが、FD会議での議論を活かして、毎年度内容を見直している。

なお、学生に対しては、通常の授業評価アンケートだけでなく、学科独自のアンケートを行い、2017年度にはそのデータ化を行った。

教員の教育研究活動については、全教員が教員業績データベースへの入力を行っている。学科発行の『史窓』『大学院研究科紀要』への投稿を学科会議において推奨しており、実際、全教員が定期的に投稿している。2016年度からは「京都女子大学教員業績評価に関する規定」に基づき、前年度業績の評価を行い、学部長・学長による評価を受けて改善活動等に取り組んでいる。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

担当授業コマ数や諸会議委員就任数など、各教員の負担が共有されにくいので、負担の平均化ができるよう、これらを可視化することを目指す。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

特筆すべき事項なし。

⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

史学科では、毎年度実施する自己点検・評価のほか、カリキュラム検討等に合わせて教員組織の適切性について点検・評価を行っている。また、その結果をもとに必要に応じて、学科会議で公募採用人事案を策定し、全学の人事委員会にて提案をしている。

| |
|--|
| <p>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</p> <p>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</p> <p>特筆すべき事項なし。</p> |
| <p>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</p> <p>特筆すべき事項なし。</p> |
| <p>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</p> <p>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</p> <p>特筆すべき事項なし。</p> |
| <p>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</p> <p>特筆すべき事項なし。</p> |

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

| |
|---|
| <p>一般的なコメント(総評)</p> <p>教員組織の適切性については、的確な分析と評価がなされています。教員の資質向上に向けた取り組みにおいても学科会議後にFD会議を実施しているといことは評価できます。</p> <p>授業アンケートへの所見を記入している教員の割合が極端に低いようです。</p> <p>次年度においては、問題点がどこにあるのか、どのようにすれば改善できるのか明らかにした、着実な取り組みを期待します。</p> |
| <p>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</p> |

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

| |
|------------------|
| <p>意見</p> |
|------------------|